令和3年8月31日 NO.14

東北医科薬科大学 若林病院 連鳴だる より

病院長挨拶

病院長 阿部 達也



WHO のパンデミック宣言(2020年3月11日)から約1年半が過ぎました。世界中に蔓延したため、この感染症についての医学的知見の蓄積は膨大です。一方、変異株や予防接種の影響、合併症、および治療薬の開発などこれからの検討課題も多く、まだ全貌が明らかになったとは言えません。

医療施設では基本的には厚労省の「診療の手引き」(最新版は第5版)にもとづいて施設ごとに対応することが原則です。現在 COVID-19 は感染症法で新型インフルエンザ等感染症に分類される指定感染症であること

はご存じのとおりです。このため治療は法律により入院か、宿泊または自宅療養でおこなわれます。

若林病院ではCOVID-19専用病室を設けることが困難なため入院治療はおこなっておりませんが、他施設でCOVID-19から回復した患者さんをお引き受けしています。一方、患者さんや職員の感染は厳重に監視しています。これは早期診断のほか院内感染対策のためでもあります。具体的には入り口の制限、開門時間の設定、玄関での検温と問診などをおこなっています。感染が否定できない場合は別室でスクリーニング検査を受けていただきます。このほか、入院前や手術前の感染スクリーニング、入院中の外出や面会の制限などのご負担もお願いしています。また、近隣の医療従事者の方々と一部のかかりつけの患者さんの予防接種もおこないました。

以上の対応は東北医科薬科大学病院(本院)と共有する「アクションプラン I ~IV」を基本にしています。これは都道府県ごとの感染状況を示す「ステージ I ~IV」の設定基準を参考にしてより詳しく当大学病院における診療、教育、および研究の規範(例えば学生実習のありかたなども)を定めたもので、若林病院独自の項目もあります。本院とは定期的な対策会議を通して情報を共有し、感染の状況に応じてスタッフを派遣するなどの協力体制をとっています。

病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった 温かい良質な医療の提供に努めます。

~	目	次	~
---	---	---	---

転出医師よりご挨拶(令和3年8月1日付異動)

呼吸器内科科長 安達 哲也

2005年4月からNTT東日本東北病院に赴任し、体制は変わりましたが、私の医師人生で最も長い16年4か月、呼吸器内科医として勤務しました。当院では呼吸リハビリを本格的に学び実践することができました。呼吸器疾患の他、内科一般の診療にも携わり、内科医として鍛えてもらいました。近隣の先生方はもちろん地域の皆様、当院の先生方、スタッフの皆様に大変お世話になり感謝申し上げます。8月からは東北医科薬科大学病院に勤務しますが、週1回水曜日の呼吸リハビリ外来は今後も担当しますのでよろしくお願いします。



▶ 呼吸器内科のご紹介に関して

令和3年8月より、下表のとおり外来診療を行ってまいります。

【呼吸器内科 外来診療担当医表】

	月	火	水	木	金		
新患	(午前) 谷田 達男				(午前) 阿部 達也		
再来	(午前) 阿部 達也	(午前・午後) 杉山 初美	(午前) 阿部 達也 高橋 識至	(午前) 阿部 達也	(午前) 高橋 識至		
【呼吸器内科連携室経由ご予約について】 基本的に月曜日〜金曜日までの連日、予約対応いたします。 ただし、再来予約状況により他日へ調整をお願いする場合もございますので、予めご了承ください。							
呼吸リハビリ	(午後)		(午後)	(午後)			

 (外来)
 高橋 識全

 禁煙外来
 令和3年5月末日をもちまして終了いたしました。

ご紹介の際は、患者総合支援センター・医療連携室にて予約できますので、どうぞご活用ください。 ご予約の際は、予約申し込み様式「紹介票(診療予約)」に必要事項をご記載の上、患者総合支援センター・ 医療連携室宛 FAX 送信ください。予約調整後、折り返し予約票を返信いたします。

なお、患者総合支援センター・医療連携室経由のご予約は医療機関様からのみ承っております。お手数をおかけいたしますが、ご協力のほどお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら遠慮なく下記窓口へお問い合わせください。

お問合せ先☞患者総合支援センター・医療連携室 022-236-5899 FAX 022-236-5920



認定看護師紹介

感染管理認定看護師 髙久 美代子

私は、2014年に感染管理認定看護師の資格を取得し、現在は感染管理専従として、院内の感染リスクを 低減するために、多職種メンバーと協働し、組織横断的に活動しています。

主な院内活動としては、院内感染発生の監視や調査、院内ラウンド、感染防止マニュアルの整備、病院に 関わる様々な職員への教育や指導、相談などです。

また、近隣の医療機関と連携を図り、地域ぐるみで感染対策が実施できるよう取り組んでいます。

昨年は、最大の課題が「新型コロナウイルス対策」で、世の中の生活様 式も変化をしました。当院でも、正面玄関での体温測定や勤務時のマスク とアイガードの着用がスタンダードとなり、新型コロナウイルス対策を継 続して実施しています。院内の感染リスクを低減させることは、患者さん に安全で良質の医療を提供すること、職員が安心して働ける職場環境づく りにもつながります。患者さんと職員を院内感染から守るために、普段か らの目配り・気配りに心がけ、一つ一つの問題に向き合い活動していきた いと考えています。



▶患者総合支援センター新体制となりました



センター長	副病院長	渡辺 正
副センター長	看護部長	若生 さと子
事務次長		本郷 長志
グループマネージャー		廣居 大輔
入退院支援室	看護師長	高橋 久美子
医療相談室	看護師長	鈴木 一枝
	MSW	川村 宏美
	MSW	太田 由起子
医療連携室	事務	伊藤 聡子
	事務	佐々木 裕子

4月より、渡辺副病院長を「患者総合支援センター長」、高橋看護師長を「入退院支援室看護師長」とす る体制に変更しております。新体制におきましても、患者さんが安心して受診・転院できるよう、そして 安心して地域で暮らせるよう、センター一丸となって邁進してまいります。また、医療機関、関係機関の 皆さまと円滑な地域医療連携を目指してまいりますので、ご意見・ご要望等ございましたら、遠慮なく患者 総合支援センターまでご連絡ください。これからも若林病院患者総合支援センターをよろしくお願いいたし ます!

患者総合 支援センター

医療連携室 医療相談室・入退院支援室 ☎ 022-236-5871

2 022-236-5899



Topics,

近隣の中高生よりメッセージと花束が届きました



聖ウルスラ学院英智中学生および高校生より、当院職員への応援メッセージと花束を寄贈いただきました。新型コロナウイルス感染症対応に奮闘し、張りつめている病院内ですが、メッセージを読んだ職員はみな笑顔になり、仕事の励みにしております。医療情勢が刻々と変化するなど、未曾有の混乱の中にありますが、地域の皆様に安心安全な医療を提供できるよう職員一同尽力してまいります。中高生の皆さん、ありがとうございました!











正面玄関のお花もきれいに咲いてます



園芸のボランティアさんが、病院敷地内の花や植木のお世話をしてくださっています。ボランティアさんの細やかな手入れにより、季節ごとに綺麗なお花を楽しむことができます月「この前来た時より大きくなったね」など成長を楽しみにしているお声も。

来院される方や病院スタッフに安らぎを与え てくださるボランティアさんに感謝いたします。

東北医科薬科大学 若林病院 患者総合支援センター

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1 TEL 022-236-5899 FAX 022-236-5920